【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉目標に向かって、学びを活かし自己表現できる生徒

原町三中だより

平成２７年　５月２１日（木）第７号
発行責任者：校長　荒木　幸子
TEL　２２－３８０２

相双中体連陸上大会　好発進

気合いと根性を感じる戦いぶりに感動

昨年のどしゃ降りとは打って変わって晴天の中、最高のコンディションに恵まれて福島県中学校体育大会陸上競技大会相双地区予選会が昨日（５月２０日）雲雀ヶ原陸上競技場で行われました。本校は２１種目に出場し、１８種目で賞状（８位入賞）をいただく大活躍でした。（詳しくは学校からのお知らせプリントをご覧下さい。）昨年が１１種目の入賞ですからその躍進ぶりは目を見張るものがあります。その中でも印象に残ったことは、入賞するしないにかかわらず全員が最後に一人でも追い抜いて終わろうと歯を食いしばり、あきらめずに戦い抜いた姿、また一本一本に精一杯の気合いを入れて頑張る姿でした。そのがんばりが結果として現れたものと思います。また、２名の補助員の生徒が、マネージメントをして友人を支えました。とてもすがすがしく立派な姿でした。補助をしてくれた友人に、選手諸君も感謝していたことと思います。

学校では、お昼と帰りの会の時に大会の速報が放送され、教室から応援してくれていた友だちや先生方にも喜びが広がりました。

今までの練習を支え、また当日応援に駆けつけて下さったご家族の皆様にも深く感謝申し上げます。生徒の頑張りに加えて、皆様のお力添えがあってこその成果です。

まもなく６月になります。今度は中体連総合大会です。陸上競技大会の勢いをそのままに、今度は各部で「夢の実現」ができるよう指導して参ります。さらなるご家庭のご協力を宜しくお願いいたします。



入賞をたたえる垂れ幕　（教頭先生手作りです）

中間テストを終えて

５月１８日には中間テストを実施しました。現在結果を集計しているところです。全体としてみれば計画を立て十分に努力をした生徒が多かったと思います。ただ２年生は少し緊張感が緩んだのかな？と思える部分もあったようです。

大切なことは**できなかったところをそのままにせず、復習をすることと**、次の期末テストに向けて**必要な改善をすること**です。各教科の教科担任からのテストの総括と助言を掲載いたします。「努力は嘘をつかない」です。ご家庭でも支援の一声をお願いいたします。

国語：　全学年とも漢字の学習への取り組みは良かった。１年生はまじめに学習に取り組んだ成果が見えた。２年生は、古典学習のポイントをとらえて良く努力し、がんばりが見えた。３年生は進級して学習への真剣な取り組みが見られ、学力が定着した。

数学：　全学年とも計算分野での努力が良い方向で反映された。授業もきちんと聞いている。ケアレスミスをなくすための計算への取り組みや見直しの仕方について学習してほしい。

英語：　テスト対策プリントの内容は完璧に覚えたい。せっかくの努力がもう一歩のところで×になってはもったいない。英文も全文覚えたい。ワークやノートはまとめてやるのではなく、その都度行って復習していくことが大切である。

理科：　実験・観察に関連する内容は身についている。知識の確かな定着のためにワークで繰り返し学習し、知識の定着を図ってほしい。また、文で説明するところ等に表現力不足を感じる。知っている知識を文で説明する表現力を身につけさせたい。

社会：　勉強している生徒と、努力不足の生徒の差が見られた。特に２年生は学習内容が定着するよう十分に復習して知識を定着させる必要がある。